岩盤ボーリング柱状図

調査名 一般県道尾道新市線外道路改良事業に伴う設計等業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 道路 掘削・掘削のり面

ボーリング名	R2-K-NO.1	**調査位置**	広島県尾道市浦崎町			**北緯**	34° 23′ 50.7732″
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所			**調査期間**	2020年 10月 27日 ～ 2020年 11月 6日	**東経**	133° 16′ 57.6051″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 20.13m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 38°
総削孔長	17.00m					**使用機種**	**試錐機** D-0B / **エンジン** NFAD8 / **ポンプ** BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事
	19.93	0.20		腐植物混じり砂	暗褐灰								細砂主体。腐植物、草根を混入する。
	18.13	2.00		花崗岩	褐灰	w5	h1	E	V	d	D		強風化し砂状～礫状コア主体。深度1.7m付近岩質はやや軟質となる。
	17.53	2.60		花崗岩	淡赤茶灰	w4	h1	D	IV				
	15.63	4.50				w3	h1	C	III	c	D		
							h2		VI				
						w4	h1	D	V	d	D		深度2.0～2.6m強風化し岩片状～短棒状コア主体。 深度2.6～4.5m弱風化し岩片やや硬質となり棒状コア主体となる。 深度4.5～6.2m強風化し白色粘土を挟む。熟水変質し粘土～砂状コア主体となる。 深度6.2～13.65m風化し岩質はやや軟質とやや硬質を繰り返し、コア形状は砂状～岩片状コアを繰り返す。
	6.48	13.65		ひん岩	暗褐灰	w4	h2	D	III	c	D		風化し岩片は軟質で爪で傷をつけることができる。概ね短棒～棒状コアで採取されるが、ハンマーで容易に砕くことができる。
	3.13	17.00											

孔内水位／測定月日：11.02 13.70

標準貫入 試験

N値	深度	深度－N値 図
30/300	1.15	
	1.45	
50/160	2.10	
	2.26	
50/70	3.00	
	3.07	
50/0	4.00	
	4.00	
50/240	5.00	
	5.24	
50/190	6.00	
	6.19	
50/40	7.00	
	7.04	
50/120	8.00	
	8.12	
50/40	9.00	
	9.04	
50/30	10.00	
	10.03	
50/60	11.00	
	11.06	
50/50	12.00	
	12.05	
50/0	13.00	
	13.00	
50/240	14.00	
	14.24	
50/230	15.00	
	15.23	
50/260	16.00	
	16.26	
50/130	17.15	
	17.28	

原位置試験

室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
10/28	400	86/B2	シングル/メタル	400.0	50		W1	
	109			100.0				
	120			150.0				
	133			200.0		3.0	W3/10	9
	133							
	200							
10/29	200							
	133							
	150		66 ダブル/ダイヤ	100.0	150			
	150					4.0	W3/10	8
	133							
	150							
	150							
10/30	133					4.0	W3/10	0
	100			50.0				
	120					5.0	W3/10	3
10/31	150			150.0				